

# 私たちがいる場所へ行く道はない

(6分40秒)

エドワード・ボイリーニ作品 (1989)

「私たちがいる場所へ行く道はない」は、映画、ビデオ、コンピューターアニメーションを融合した作品です。印象派的な画像を組み合わせを通して、人類のコミュニケーションの歴史を、シンボルからデジタルコミュニケーションまで含めて追っています。技術の進化を示した並列した画像は、戦争のものを含め、人の姿と織り交ぜられています。人間のコミュニケーションの進化は、ある程度歴史を左右するものです。コミュニケーションとテクノロジーの進歩は、人間の生活を改善し、人々の距離を近づける可能性を秘めています。しかし、それが起こるかどうかは、不明のままです。その障壁が無くなった後は、どうなるのでしょうか？

1989年に崩壊したベルリンの壁から、作品の着想を得ています。元となる映像は1989年と1990年にかけての数か月間で完成しました。2020年と2021年に、内容が変更され、インターネットでのストリーミング用に最適化されました。ここで公開されている作品は、1.5GBある元のファイルから100MB未満に大幅に圧縮されています。

## 元となった展示会

- ルッカ90国際アニメーションフェスティバル、イタリア、ルッカ
- 1990年ヨーロッパメディアアートフェスティバル、ドイツ、オスナブリュック
- 1990年第5回オーストラリア国際ビデオフェスティバル
- ニューアングル国際ビデオフェスティバル、ニューヨーク
- 先端技術展示会、全国ビデオフェスティバル
- tアメリカ映画研究所、ロサンゼルス
- QuickTimeフェスティバル、コンピューターミュージアム、ボストン
- QuickTimeフェスティバル、Macworld、サンフランシスコ
- ダラスビデオフェスティバル、テキサス州ダラス
- BraveNew Pixels、シカゴNIU.GalleryにあるSiggraph
- インディアナフィルムソサエティビデオフェスティバル、インディアナポリス

